

令和5年度 移住・定住・交流推進支援事業

◎一般事業

N0.	都道府県	市区町村	事業名	事業の種別	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	採択額 (千円)
1	北海道	大空町	PROTO OZORAプロジェクト	ア 一般事業	大空町	町民や町内事業者等との政策作りを通して、誰もが気軽にチャレンジできる土壌があり、活躍することができる町であることを魅力としてPRを行い、関係人口の創出や移住促進につなげることを目的とする。	○プロジェクトの趣旨や生徒のアイデア作成から政策提言までの取組をまとめたブックレット作成 ○高校生や町内事業者等とのアイデアづくりから政策作りの実施 ○「まちづくり」の視点や教育に関心の高い層に向け、本プロジェクトの情報発信	1,122
2	北海道	芽室町	暮らす目線で巡る 移住はじめの一歩ツアーin北海道十勝	ア 一般事業	NPO法人 Qucurcus	北海道十勝管内への移住を検討している人向けに、複数自治体が連携してツアーを行うことで、効率的な情報収集や参加自治体への理解を深めてもらい、最終的な移住へ繋げることを目的とする。	○移住検討者を対象にした北海道十勝管内（芽室町・鹿追町・音更町）を巡るツアーの開催 ○ツアー参加者と対象とした先輩移住者とのパネルディスカッション ○ツアー参加者を対象とした各町の移住担当者と先輩移住者による移住相談会を実施	753
3	岩手県	大船渡市	南嶺復興交流推進センターを拠点とした体験型交流創出事業	ア 一般事業	大船渡市	廃校となった小学校を改修し、令和2年10月に開業した「南嶺復興交流推進センター」を拠点とした交流創出事業を実施し、施設の認知度向上及び利用促進を図りながら、効果的なプロモーションを展開する。また、地元住民とも連携しながら、先進地の好事例を取り入れた、スポーツアクティビティや体験を融合した複合型体験モニターツアー、専門家による指導等による体験プログラムを磨き上げ、魅力向上による滞在時間の延伸を図る取り組みを実施する。さらに、当該事業は、施設への誘客だけでなく、地域全体へのシナジーによる経済波及効果も期待しつつ、当該事業を実施する。	①施設を拠点とした体験プログラムの受入態勢整備 ②施設を拠点とした体験プログラムを活用したモニターツアー ③施設及び関連する体験観光に係るプロモーション ④先進地視察	2,000
4	岩手県	滝沢市	若者人材への地域魅力発信事業	ア 一般事業	滝沢市	市内に居住する若者をターゲットに滝沢市の魅力を発信するとともに、首都圏等に就職した滝沢市出身者との交流事業を実施することで、地元住民では思いつかない地域の魅力の発見につなげ、今後の移住・定住施策の推進に寄与することを目的とする。	■在京滝沢市出身者との交流事業 ■特産品PR事業の実施 ■地元への就業に関する事業の実施	2,000
5	宮城県	栗原市	地域の伸びしろで地域をリノベーション—自分たちでできることは自分たちでやろう！—	ア 一般事業	一般社団法人はなやまネットワーク	都市と農村のそれぞれの拠点を持つ人々が「人とのつながり・共感・楽しさ」をシェアできる地域の伸びしろを起点に、多様な「地域の応援団（関係人口）」が増える状態を目指す。また、自然環境の保全や地域コミュニティの形成に向けた継続的な取組が、多様なプレイヤーが補完し合うことで、地域の活力の維持や新たな着想につながる「好循環」を形成することを目的とする。また、自分自身が関われる余地を地域の伸びしろを通して実現することで新しい暮らし方、働き方、生き方を考えられる環境を形成することを目的とする。	○「ぼくらのベースキャンプ」プロジェクト ○「コミュニティサロン」プロジェクト ○「空き家片付け隊」プロジェクト	2,000
6	福島県	西会津町	にしあいづ移住・定住促進事業	ア 一般事業	西会津町	現在町では人口減少対策を最重要課題と位置づけており、町の将来に向け地域の担い手として特に若い移住者を呼び込むため、庁内横断的に各種政策を展開している。移住を推進するにあたって、まずは町を知ってもらい、実際に足を運んで地域資源に触れ、地域住民との交流機会をもってもらったといった移住の入口となる部分を強化し、移住定住を促進する。	①移住サポーターの育成 ②移住体験ツアーの実施 ③移住に関する情報発信の強化 ④Wi-Fi環境の整備 ⑤お試し移住住宅「0tame」の維持管理	2,000
7	茨城県	下妻市	子どもの遊び空間の魅力化をきっかけとした本質的地方創生を目指す「マルチスポーツＰＬＡＹパーク」常設化事業	ア 一般事業	下妻市	【目的】 産学官民が連携して子どもを中心とした遊びの場を提供し、未来の人材育成と交流促進を図り、高質なスポーツ環境を街のソフトインフラとして常設することで街の魅力や暮らしの質の向上を図り、移住・定住にも繋げることを目的とする。 【趣旨】 未来の地域の担い手である子ども達にスポットを当て、地域のスポーツサービスピロバイダ、大学・高校、地域人材、専門家、行政など様々な主体が連携し、スポーツが本来持つ競技性以外の機能を活かして、子ども達の心身の健康を促進し、非認知能力やライフスキルも高めるプログラムを提供する。子ども達の主体性や創造性を伸ばすプログラムを街のソフトインフラとして常設することで、未来を担う人材を育成することはもとより、高質なスポーツ・教育環境により街の魅力度を高め、地域内外の人材交流を促進し、最終的に質を求めた移住・定住にも繋げる、本質的な地方創生実現に寄与する事業を展開する。	①基本の遊びプログラム（30分） ②実践！遊びプログラム（50分）	2,000
8	栃木県	小山市	高校生×クリエイター 都市と地域のmiraいをつなぐ「おやま高校生まちづくりProject」	ア 一般事業	小山市	若者世代の発想や視点の活用による小山の魅力の掘り起こしや情報発信等を行い、「若者に選ばれるまちおやま」を創り、定住人口のみならず、交流人口・関係人口の増加を図るなど、本市への人の流れをつくり、若者世代の移住者増加につなげる。加えて、既に本市と関わりを持っている若者に対しても、本市への愛着の向上を図り、定住志向の向上を目指す。	①おやま高校生まちづくりプロジェクトによるまちづくり ②プロモーションムービー制作ワークショップ ③プロモーションムービーの放映（市公式Instagram他）	2,000
9	群馬県	甘楽町	国際交流を活用した甘楽の魅力発信・地域づくり事業	ア 一般事業	甘楽町	海外姉妹都市との交流を通して、関係人口の創出等による地域活性化や、特産品の活用等による地域の魅力向上と産業振興を図り、併せて地域住民が関わることによる将来的な地域活動の活性化と地域への定着を図ることを目的とする。	○海外姉妹都市における食文化交流を通じた甘楽の魅力発信事業 ○海外姉妹都市等における日本酒を活用した甘楽の魅力発信事業	2,000
10	埼玉県	行田市	行田の魅力発信の起点となる 行田はちまんマルシェリノベーションプロジェクト	ア 一般事業	行田市	週1回、観光客で賑わう八幡神社で、農産物やクラフト品の販売を行っている「行田はちまんマルシェ」を行田市の新たな観光スポットとして磨き上げることで、行田市が「賑わいのある魅力あるまち」であることを市内外に発信し、行田市への移住・定住につなげていく。 また、当マルシェをまちおこしプロジェクトと位置付け、地域住民や出張者に当事者意識を持ってもらうとともに、地方創生や地域貢献等に興味・関心を持つ市外在住の人を募ることで行田市の関係人口を創出する。	①マルシェの学校の開催 ②特産品のブランド化・行田ならではの新商品の開発 ③戦略的広報の実施	2,000
11	神奈川県	逗子市	逗子の魅力を発信！「アテンダー」養成プロジェクト	ア 一般事業	一般社団法人 Regional Sports	逗子の地域・自然・人を「スポーツ・アクティビティ」でつなぐイベント主催者「アテンダー」を養成する。 多様なイベントを実施し、地域の魅力を発信するアテンダーが増えることで、継続的に逗子の魅力を発信する機会が増えるため、交流人口や、関係人口の増加、さらには、移住の促進等につなげる。	a) インプットセミナー b) アウトプットセミナー c) イベント開催	2,000
12	新潟県	長岡市	オンラインとリアル融合交流推進事業	ア 一般事業	NPO法人中越防災フロンティア	山古志地域では昨年度、世界で初めて、限界集落が電子住民票を兼ねたNFTを発行し「デジタル村民」が誕生。都市部住民らとオンライン上で出会い、リアルで深める交流の形が始まりつつあり、オンラインからリアルへの流入を促し、融合する機会を創出することにより、過疎地である現状のメリット・デメリットや、地方移住等についての検討提案を目的とした交流人口の促進及び地域連携の活性化を目的とする。	○ガイド育成・モニターツアー開催 ○事業広報用素材の制作と周知	2,000
13	新潟県	南魚沼市	BC project Beyond Curiosity 地域の未来に繋げる新時代の職業体験スクール	ア 一般事業	BC project	南魚沼市でも首都圏でなくても希望する職種・業種があること、南魚沼市でも夢を叶えることが出来ることを伝えることを目的に、民間団体及び企業と連携しながら、今後進路選択を迎える高校生を対象とした新しい形の職場体験を実施する。	○高校生対象「本格的な職業スクール」を運営	1,855
14	福井県	越前市	共働き率トップクラス福井県越前市×大都市圏共働き世代親子ワーケーション誘致事業	ア 一般事業	一般社団法人越前市観光協会	大都市圏の共働き・子育て世代のファミリー向けにワーケーション受入れ環境整備及び誘致活動を行い、地域性に触れてもらう機会を創出し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。	○共働きコミュニティ「ikumado」とタイアップ ○共働き世代向けにモニタープランや募集イベントを実施 ○モニターツアーの実施 ○モニターツアーの分析、ブラッシュアップ	2,000
15	山梨県	早川町	ペットと共に・住んで良し訪れて良しのまちづくり事業	ア 一般事業	早川町	早川町が抱える空き家、空き地の課題に対し、近年コロナの影響で増えてきている「ペットと暮らす家族」をターゲットに交流人口の増加、移住者の増加を図る。	○ホームページによるペットと暮らせる空き家の情報発信 ○ドッグランの整備 ○地元向けワークショップ ○空き家見学ツアー（現地、オンライン） ○イベントへの出展	2,000
16	山梨県	丹波山村	丹波山村 山村留学推進事業	ア 一般事業	移住定住促進協議会	山村留学の促進により移住強化を図ることを目的とした事業の第一段として、山村留学家庭受入れの情報発信源の確立を行い、次年度以降も継続的かつ積極的に移住定住の情報発信を行える体制を整える。	○移住推進ホームページの作成 ○SNSアカウントの運用 ○山村留学説明会の実施	1,980
17	岐阜県	美濃加茂市	移住・定住・交流促進のための里山講座事業	ア 一般事業	美濃加茂市	移住希望者や今の暮らしに疑問や不安を感じている人、自然体験を求める人、地域資源を活かしたビジネスに興味がある人等を対象に、里山の暮らしや文化、技術を体験できる講座や地域住民と交流できる講座を実施し、観光では得られない地域の魅力を実感してもらう。また、市内在住者に対しても、地域資源の価値を見直すきっかけとする。これにより、里山の文化を未来に継承する人材を育成するとともに、地域への継続的な関わりの創出、移住・定住・交流促進を図る。	○気軽に参加できる単発講座 ○地域住民との交流、仲間づくりのための連続講座 ○専門性を深め、継続的な関わりをつくる専門講座	2,000
18	静岡県	富士市	富士山のふもとの移住交流体験イベント開催	ア 一般事業	富士市	市民や地域事業者との交流や、実際の空き家でのＤＩＹ体験を通じて、本市の魅力や豊かな暮らしを直接伝えることで、本市への移住やワーケーションを促進するとともに、イベント前後でのPR活動により、東京圏での本市の知名度向上を図る。	○移住交流体験イベントの開催 ①空き家リフォーム体験会 ②農業交流体験会 ○首都圏等で開催される移住相談会においてノベルティやPRフライヤーを配布。ウェブ広告による事業周知と参加者募集 ○市移住ポータルサイトにおいて、参加者の感想などを交えて交流イベントの様子を掲載	1,254
19	静岡県	下田市	下田伝統芸能を未来へつなげる移住・定住促進プロジェクト	ア 一般事業	下田伝統芸能普及促進委員会	移住者等を対象とした伝統芸能体験イベントを開催し、下田伝統芸能の魅力を伝えるとともに伝統芸能を通した移住・定住の促進、移住・定住交流コミュニティの構築、伝統芸能の継承にもつなげることを目的とする。	○日本舞踊の花柳流の師範を講師として招き、全4回の開催を通して移住者等や地元民との交流を図りつつ、下田伝統芸能である「下田節」、「唐人お吉」の成り立ちや歴史を学び、実際に舞踊を体験 ○参加者が移住希望者であった場合には希望により市の移住定住支援サポーター等と協力し移住相談を実施	2,000

令和5年度 移住・定住・交流推進支援事業

N0.	都道府県	市区町村	事業名	事業の種別	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	採択額 (千円)
20	愛知県	大府市	大府市健康お笑い事業	ア 一般事業	大府市	笑いと健康をテーマにした大府市健康お笑い事業を実施すること で、「日本一元気な健康都市」を推進し、全国から様々な人々が集い、生きがいをもって活躍することができる「活力ある地域社会」を実現する。	○市民芸人育成プログラム2023 ○第54回大府市産業文化まつりステージ出演 ○大府市市民芸人登録制度による市民芸人の活用 ○08U-Iグランプリ2023 ○08U-Iグランプリ優勝コンビによる地域情報番組への出演 ○市内外の企業による大府市健康お笑い事業への寄附・物品協賛	1,928
21	滋賀県	東近江市	旧湖東歴史民俗資料館復活プロジェクト	ア 一般事業	東近江市	平成24年3月の閉館後、一般公開されていない旧湖東歴史民俗資料館（以下「旧資料館」という。）を、再び地域に根差した施設として再活用するため、東近江市商工会が実施している「女性のための創業塾」修了生等の起業を志す人材を支援する場とし、廃校舎という建物の特徴をいかした商品やサービスを提供することで、稼ぐ地域をつくり、安心して働ける地域を目指す。また、旧資料館の資料を活用して東近江市の衣・食・住の文化的魅力の発信という視点で地域を活性化することを目的とする。このことによって、住民の雇用や観光客増加による交流人口を創出し移住、定住につなげる。	・東近江市商工会が実施している「女性のための創業塾」修了生の起業を支援するためのマルシェを開催 ・市内外からの集客力を高めるため、親子連れをターゲットとした子ども向け事業を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたNew normalに対応し、SNSを活用したEC販売が益々増加することが見込まれるため、商品や店舗の情報発信ができる動画及び写真撮影スタジオを整備 ・SNS用撮影スタジオを整備し、旧資料館に所蔵されている資料を活用し東近江市の衣・食・住の文化を世界に発信するYouTubeチャンネルを開設	2,000
22	京都府	福知山市	未来につなぐ人と森づくり事業～マルシェ	ア 一般事業	福知山市	地域資源である森林や漆等とかがわる暮らしをテーマとした移住者の受け入れに取り組むとともに、地域住民が地域の歴史や豊かな資源について再認識してもらうことで、移住者と地域住民が一緒に、地域資源の保全に取り組む持続可能な地域づくりを行う。	・移住者確保に向けた地域のPRイベントやマルシェの開催 ・地域住民を対象にしたワークショップの実施 ・地域資源の再認識及び魅力再発見を目的としたフィールドワークの実施	960
23	兵庫県	豊岡市	地方特有の趣味や面白体験でつながる「婚活×移住」	ア 一般事業	豊岡市	都市部在住の男性と豊岡在住の女性のマッチングを目的とした婚活事業を実施する。地方で暮らしたいと考える男性と豊岡に住み続けたいと考える女性を参加対象として、地方特有の趣味や地方での体験をテーマに、共通の趣味や体験を通じて出会う場を提供する。	●豊岡体験ツアーの開催 テーマを設定して豊岡を体験するツアーを実施 ●フォローアップイベント 豊岡体験ツアーの参加者同士の交流会	2,000
24	奈良県	川西町	川西町 未来のまちづくり促進プロジェクト2023	ア 一般事業	一般社団法人 com 及びボランティアメンバー	人口減少が進行し、「消滅可能性都市」に指定されている奈良県磯城郡川西町にて、休耕地活用の一例を示しながら、町の魅力を発信し、町内外の方々が相互交流を回り、川西町への「愛着」「誇り」といった感情を醸成することを通して、同町への移住・定住の促進に寄与することを、本事業の目的とする。	○休耕地を活用した農業体験 ○ツリーハウスづくり ○ホームページによる情報発信 ○「川西町の魅力」アンケート実施	2,000
25	和歌山県	和歌山市	漁村暮らしの魅力体験による関係人口・移住者創出事業	ア 一般事業	さいかざきボッセ	長期滞在可能なお試し居住施設や体験プログラムを試行することで、雑賀崎のファン・移住者や関係人口を増やし、子ども・孫の世代まで住み続けられる地域につなげることを目的とする。	○長期滞在可能なお試し居住の試行 ○雑賀崎の暮らしや魅力を体感する体験プログラムの実施	2,000
26	和歌山県	田辺市	「龍のむら」移住・定住・交流推進事業～みんなでつくる龍神村の未来～	ア 一般事業	龍の里づくり委員会	「龍神村」の地名を活かし、「龍」をテーマとした一体的な地域づくりの一環として、地域の施設を活用したイベント等を開催し、従来の観光客のみならず、ワーケーションやニ地域居住を志向する県外住民等に対し、龍神村の魅力をアピールし、関係人口・交流人口の増加及び関係性の深化を図ることを目的とする。	○龍をテーマにした博物館「龍神村ドラゴンミュージアム」の魅力アップ事業（龍の造形物のコンテスト「龍の造形大賞リターンズ」の開催等） ○交流施設「ドラゴンパーク」の魅力アップ事業（同施設での地域産品販売及び移住相談等のイベント開催、地域住民向けワーケーション講座の実施）	2,000
27	島根県	大田市	大田の「食」のPRによる地域活性化事業	ア 一般事業	大田市	人口減少による地域経済衰退に歯止めをかけるため、大田市の魅力ある「食」の提供・発信を通じて交流を回り、交流人口の増加を目指す。	①販売高向上事業 ②地元飲食店等応援事業 ③市内産品・食材PR事業	1,538
28	島根県	江津市	江津本町の歴史に触れる、江戸時代の家で移住交流推進事業	ア 一般事業	本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会	歴史的建造物が多く残る江津本町に移住おためし拠点を整備し移住交流の促進を回り、賑わいを創出する。 また、江戸時代や長州藩の陣が敷かれた幕末などの歴史を古くから残る建造物などを通して、江津本町の魅力を伝えることができる体験を造成する。	①拠点の整備 ②江津本町の歴史に触れながら地域住民と交流できる体験の造成 ③広報 ④モニター	2,000
29	岡山県	新見市	空き家利活用推進事業	ア 一般事業	新見市	新見市では、平成24年度から空き家情報バンクを運営しているが、人口減少が進む中で、空き家問題が深刻化しており、市内の空き家件数も年々増加している。 今後、空き家が増え続け、防犯、景観、環境面など多方面で悪影響が発生する前に、空き家情報バンク管理体制を強化させるとともに、空き家が有効に活用されるよう成約件数の増加に向けて取り組むことによって、活力とにぎわいを創出する。	・システム導入による空き家情報の共有化（部局間連携による一元管理） ・空き家情報のVR化（360度カメラの導入）	1,496
30	広島県	北広島町	わさの輪プロジェクト	ア 一般事業	大朝地域協議会	地域の将来像となる「グランドデザイン」を策定し、関係人口・交流人口の拡大と移住定住の推進を回り、将来にわたって元気な魅力ある地域の実現を目指す。	○グランドデザインの策定 ○ICTを活用した情報発信やオンライン相談会の実施、ふるさと納税増に向けた取組による交流・関係・移住・定住の促進	2,000
31	徳島県	阿南市	エシカル・サブカル・モウカル地域創造事業	ア 一般事業	阿南市	市内観光スポットのPR動画製作をはじめ、商店街の空き家調査・利活用や商店街でエシカルを取り入れたイベントを実施するなど、阿南駅周辺の魅力度向上を回り、交流人口の拡大につなげる。	○空き家・空き店舗調査、ワークショップ ○商店街エリアでのイベント開催 ○PR動画製作、観光PR活動 ○ピーチ・リパークリーン	2,000
32	香川県	小豆島町	子育て世帯移住促進PR強化事業	ア 一般事業	NP0法人Totie	小豆島内における本質的な地域課題解決のためには、子育て世帯の移住が重要であり、本事業を通じて、島内の子育て環境の良さや制度情報などを周知し、転入を検討する子育て世帯を増加させることを目的とする。	○島内の子育てのしやすさや定住情報を盛り込んだガイドブックを制作し、SNS等で発信 ○エリア内の保育施設や子育て支援団体と協働し、子育て世帯の移住検討者と在住子育て世帯とをつなぐ事業を実施 ○島内子育て世帯同士の交流イベントの実施	1,328
33	愛媛県	西予市	農業と交流が生み出す霧源∞の循環サイクル構築プログラム	ア 一般事業	横林自治振興協議会	横林地域には、人材・技術・誇れる農村文化・耕作放棄地を含めたフィールド等地域資源が豊富に存在し、地域ブランディングを通して、ファンや交流人口が少しずつ増加しているものの、地域の将来には、より深い交流やファン・関係人口・移住者の獲得が必要である。 そのため、遊休施設をリノベーションし、地域農業・農村文化を体験・体感することが可能な滞在型拠点施設『横のbase』を整備することで、地域のファン・関係人口・移住者の獲得するための仕組みづくりを目指す。	①戦略プランの作成及び仲間づくりWSの開催 ②地域資源データバンクの作成 ③農業体験・交流プログラムの構築 ④再生プロジェクトの実施 ⑤ドキュメンタリー映像の配信・仲間づくりの実施 ⑥広報媒体・オリジナルデザインの制作 ⑦農作業必要品整備	2,000
34	愛媛県	上島町	空き家DIYワークショップ×移住体験事業	ア 一般事業	特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊	移住希望者が入居可能な空き家数は限られており、実際の移住の大きな障壁となっている。 そこで、上島町で開催されていない「移住体験ツアー」を実施し、同ツアーの中で、町内や周辺地域から優れたDIYの技術を持つ講師を招聘した「空き家リノベーションのワークショップ」を開催することで、移住希望者が移住を断念している上島町の地域課題解決を目指す。	移住体験ツアーを兼ねた「空き家DIYワークショップ」を年3回開催	1,714
35	高知県	須崎市	須崎で暮らそう！移住定住交流事業による須崎市活性化事業	ア 一般事業	NP0法人暮らしさき	県外の移住者が訪れたいくなるプログラムや施設を設置し、須崎へ来る機会作りを強化する。そして、交流から移住・定住へ結びつける仕組み作りを行い、人口減少に歯止めをかけ、地域活性化のための地域コミュニティを再生することを目的とする。	○情報発信事業 ○中短期滞在施設整備事業 ○すさき暮らし体験ツアー事業 ○Uターン促進事業 ○定住促進事業 ○空き家活用促進事業	2,000
36	福岡県	糸島市	中学生と留学生の課題解決及び地域住民と地域留学生交流事業	ア 一般事業	糸島市	留学生と糸島市民との交流の機会を設け、地域の国際交流、国際教育、国際理解の推進につなげ地域活性化を図る。また、中学生には英語に親しみながら、多様な文化を学び、世界に視野を広げてもらうとともに、市内中学生や地域住民の方々に、留学生も地域社会を支え合っていくパートナーであるという認識を深めてもらい、お互いを認め合う社会を目指すことを目的とする。	○市内中学生が九州大学留学生とともに、エネルギー問題（脱炭素）の勉強会、発電実験、電力施設見学等を通じた気づきを班ごとに英語で話し合い、発表する全3回のワークショップを実施。英語に親しみながら中学生の視点で課題解決に取り組むとともに、留学生との国際交流を推進 ○第4回目には、ワークショップメンバーに糸島市国際村(*)周辺の地域住民及び地域在住の留学生を加え、着物の着付けや遊びなどの交流を通して、多文化共生社会に向けた双方向交流を実施	700
37	福岡県	筑前町	巨大わらかがし制作による地域活性化事業	ア 一般事業	筑前町	毎年秋に開催している筑前町最大の祭り「どんとかがし祭」は、地域住民の連帯と融和を回り、まちづくりを進める躍動の場となっている。 「巨大わらかがし」制作は世代間交流など住民同士の交流の場を創出することができ、また、交流人口の増加も見込める。町民にとっては自分たちが住む町に愛着を持てただけきかけとなることを目的とする。	・巨大わらかがしの制作への各種団体、ボランティアの参画による地域間及び世代間交流促進 ・巨大わらかがしのライトアップ及びPRによる知名度向上 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等が懸念される状況となった場合においても、コロナ対策を講じつつ制作・展示を実施	2,000
38	熊本県	上天草市	「DIY木の学校」の仕組み構築による空き家課題解決・移住促進事業	ア 一般事業	全国空き家アドバイザー協議会 熊本県上天草支部	実際の空き家を用いてDIYに関心のある人々（移住希望者や地域住民含む）へ向けて専門講師から指導を受け、空き家を自身でリフォーム・修繕するために必要な知識や実技を学ぶ場として「湯島DIY木の学校」の実証実験を行い、事業終了後に定期的に開催することを目指し、人材育成を合わせて行う。 DIYに関心のある人々を呼び込むことにより、古い空き家や、リフォームが必要な空き家の活用を推進し、移住定住の促進、移住者と地元住民の交流を図ることを目的とする。	実際の空き家を活用した「湯島DIY木の学校」を開催	2,000
39	大分県	竹田市	移住・定住・交流推進支援事業	ア 一般事業	NP0法人里山保全活用百人会	「たけた竹楽」は、放置林対策により伐採された竹を活用した竹灯笼によりまちを彩り、幅広い世代の住民やボランティア、観光客が交流することができる竹田市の一大イベントである。これまで22年間継続してきた活動であるが、高齢化等により継続が課題となっている。 竹の加工設備の導入や大学生等を対象としたワークショップの開催、情報発信等により、竹楽のさらなる活性化と発展がなされ、幅広い世代の交流促進や里山の保全につながる活動を行うことを目的とする。	○竹の加工設備の充実 ○竹加工のワークショップ ○大学生、企業を対象としたワークショップ ○情報発信	1,905
40	鹿児島県	鹿屋市	かのやローカルチャレンジスクール	ア 一般事業	鹿屋市	都市部からの移住者受入増進を図るため、鹿屋の地域資源を活かして地域の活性化に資するビジネスの起業にチャレンジする人材を育成し、関係人口づくりの推進を通して移住促進を目指す。	○現在都市部に居住し、今後鹿屋市での起業等を目指す人材を対象とした連続講座を実施 ○講座のプログラムとしてオンラインワークショップやフィールドワークを実施 ○講座の最後に受講生による発表会を実施 ○プロジェクトの内容によっては、起業支援や地域おこし協力隊などの鹿屋市でのチャレンジをサポート	2,000

令和5年度 移住・定住・交流推進支援事業

NO.	都道府県	市区町村	事業名	事業の種別	実施主体名	事業の趣旨又は目的	事業概要	採択額 (千円)
41	鹿児島県	肝付町	地域交流型ワーケーション施設「海辺の音（ね）」推進事業	ア 一般事業	肝付町	地域交流型ワーケーション施設「海辺の音（ね）」に企業ワーケーションやテレワーカーを積極的に誘致し、海辺の音を聞きながら癒やしの時間を過ごすことで町の魅力を実感してもらい、関係人口の創出や企業の誘致、移住定住の促進を目指す。	○「海辺の音（ね）」についての情報発信（Webサイト構築，首都圏イベント） ○施設のテレワーク環境の整備（Wi-Fi整備，施設修繕） ○地域交流イベントの開催 ○地域課題に対するチームビルディングの実施	2,000
42	沖縄県	大宜味村	大宜味村移住定住等体制整備事業	ア 一般事業	大宜味村	村全域が過疎地域に指定されており、村の人口は減少傾向が続いている。人口目標を2025年度に3,200人を目標とし、人口達成目標戦略に挙げ移住定住環境の改善を図っている。 空家活用に向けた所有者及びその子世代への周知、インナープロモーション等が行える環境整備が求められる。 都市圏を中心とした村外にすおターゲット層へ移住情報を届ける必要性から、移住相談体制の整備を進め、移住・定住・交流の促進を図ることを目的としている。	・沖縄県内における先進地域の視察 ・改修した空家で他の空家所有者やその家族を対象とした内覧会を行い、チラシ・パンフレット等の配布 ・空家所有者を対象としたセミナー・講演会等の実施 ・移住相談会に参加するための環境整備 ・JOIN移住・交流&地域おこしフェアへの参加 ・沖縄県主催の移住相談会への参加 ・リモートでの相談に対応できる環境整備	2,000